

令和元年度

校長室だより 12月号 No. 8

宝達志水町立押水第一小学校 R元. 12. 9



いよいよ師走、今年も残すところ1か月になりました。これまで保護者・地域のみなさまのご理解とご支援をいただき、充実した教育活動を展開できております。改めてお礼申し上げます。

2学期、子どもたちは色々な事に挑戦しました。学習面、運動面、文化面で子どもたちの頑張りが見られました。

学習面では、学校全体で授業中の指導方法を変えました。話し合いながら協力して4、5名で学習できるように作られた教具「まなボード」を使って授業をしています。それぞれが自分の考えを「まなボード」に書き意見を出し合います。話し合いの結果を学級全体で検討していきます。そして、学級の解答に仕上げていきます。これは、次年度にもつながる学習方法です。**(写真：「まなボード」の学習)**



運動面では、学校全体でマラソン練習に取り組みました。その成果が、校内マラソン大会で発揮できたように思います。保護者の皆さんにもたくさん応援していただきありがとうございました。たくさんの拍手と声援は、子どもたちの大きな励みになりました。また、いしかわっ子駅伝でも本校の代表チームが大健闘をしました。

文化面では、音楽集会での各学年の演奏で子どもたちの成長ぶりをうかがい知ることができたように思います。各学級では、音楽集会に向けて練習を重ね、音楽集会当日はそれぞれの持ち味を十分に発揮できました。

このような第一小の子どもたちの様子から、私は、苦手なことに対しても努力し続ける意志を感じています。好きなことや得意なことだけでなく、すべてのことに全力で挑戦しやり遂げようとする強い気持ちを感じています。そうした意志や気持ちを行動に移すことで、努力が成果に結び付き、自分自身の成長を実感できるようになると思います。

年末から年始にかけて、ご家族で過ごす時間が多くなると思います。その際、あえて苦手なことを話題にして、そのことへの挑戦を新しい年の目標の一つにすると、さらなる成長につながるかもしれません。

児童集会で見られる表現力の向上

令和元年度の学校目標の中の一つに「表現力の向上」を掲げました。これには、校長としての3つの願いがあります。

1つは、小規模校出身の本校の子どもたちが、大きな大会などで他校の子どもたちの中に入った時にも自分らしさが出せるように、

2つは、授業において、この1時間で何を習ってどう理解できたのかを言えるように、

3つは、友だちといっしょに学習を進めていく中で意見を出し合いながら自分の考えに磨きをかけ、その結果、新たに学んだことを表現できるように、ということです。

先日、3日（火）に児童集会を開催しました。特に、1つめの願いに関連する子どもたちの成長する姿が見えたので紹介します。

今月の歌「ビリーブ」で

ホームページでも紹介しましたが、11月の今月の歌「ビリーブ」を児童集会の最初のプログラムで歌いました。全校児童の歌声が体育館中に響き渡りました。1年生から6年生の表情を見ても明るく元気に一生懸命歌っていました。学校がワンチームとしてまとまっているなあと感じることができる瞬間でした。



2年生の学年発表で



2年生は生活科でいろいろな遊びを考えたようです。その一端を児童集会で発表しました。6日（金）に1年生を招待して一緒に遊ぶということですが、その前に全校児童にもお披露目をしてくれたのです。空き缶積み、ペットボトルボウリング、手作り楽器、魚釣りゲーム等の出し物を紹介しましたが、特に魚釣りの紹介が全校の皆には受けたようです。

身振り手振りを入れ表情豊かに演技をしながら紹介する2年生のM君の姿について笑ってしまい、会場を和やかな雰囲気にしてくれました。

体育委員会・美化委員会での発表で

体育委員会は、縄跳びの模範演技、寒い時期に有効な体の動きについて、美化委員会は掲示物のポスターでクイズの出題をしました。両委員会ともプレゼンテーションのスキルが向上し、見る側の立場を考え分かりやすく発表していました。特に、6年生U君の進行が大きな声ではっきりと聞き取りやすかったのでスムーズな流れで行っていました。



代表委員会のゲーム進行で

学級代表で構成する代表委員会は、ゲームを企画しました。

代表委員の企画で、「〇〇と言えバ？」という問いをした後に全校の8つに分かれたグループが、その問いから連想されるものを相談してホワイトボードに書き、ほかの班と答えが一致すれば得点が入るゲームをしました。



進行そのものもよかったのですが、進行をしていた5年N君が全体の雰囲気明るくするような仕草や言葉かけができ、全校の児童はとて楽しくゲームに参加することができました。このような機転の利いた表現は、ある程度の経験がないと難しいのですが、そのようなスキルが身につけてきたことは嬉しいかぎりです。

授業でも表現力の向上をめざします。

押水第一小学校では、協働学習のための教具「まなボード」を使用しています。これは地域の皆様から教育後援会を通して学校に頂いています資金で購入させていただきました。心から感謝申し上げます。

本校では、この「まなボード」を用いて児童同士の学び合いが活発になり、この話し合いをもとにさらに検討し考えを深めていく学習を行っています。来年度から本格実施されます新学習指導要領にもあります「主体的で対話的で深い学び」が実現できるようにと願ってのことです。算数科、理科を中心に全教科で「まなボード」を取り入れ、児童同士の協働学習を行っています。今、始めたばかりで、まだまだ改善の余地がありますが、全職員上げて授業改善に取り組んでいきます。

- 写真** まず、個々で課題について考えます。
次に、その考えを「まなボード」に出し合い検討します。
さらに、学級全体で検討を加えます。
最後に、学級全体で考えたことをまとめます。



このような方法で、授業を行い児童の表現の質を高めていきます。色々な教科で取り組んでいきます。よろしくお願ひします。

MRO テレビで自身の思いを表現

6年生 戸部さん親子が「親子の手紙 一筆啓上」で

戸部さんは、お母さんといっしょに、苦手としている校内マラソン大会を題材にした作品を応募しました。それが、優秀な作品として表彰を受け、マラソン大会当日、北陸放送の取材を受けました。12月7日（土）に放送され、戸部さんの作品とその背景にある戸部さんの思い、お母さんの思いが放送されました。見ているものの気持ちが引き寄せられるとてもすばらしい番組でした。



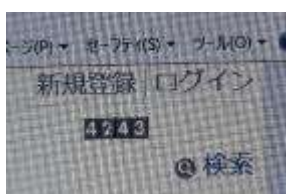
写真 放送の一コマ

ホームページのアクセスありがとうございます。

令和元年6月に本校ホームページをリニューアルしました。学校での様子を保護者の皆さんや地域の皆さんにできるだけ早くお知らせしたいという気持ちと、スマートフォンからでもご覧いただけるように、あまり時間をかけなくてもすぐにアップできるシステムで運用をしました。



6月、7月、10月、11月、12月の5か月間ホームページを開設いたしました。たくさんの方々からアクセスを頂き大変感謝しています。PTA会員が50人余りの小規模校のホームページで4200余りのアクセスがありました。1日30以上のアクセスがあり、盛り上げて頂き感謝しています。



レイアウトとか、情報の配列とかは、ホームページを本格的に作製していらっしゃる方にとっては稚拙なものになっているとは思いますが、今後もできるだけ学校の様子をお知らせいたしますので、どうか本校のホームページを応援していただければ幸いです。

宜しくお願い致します。